



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名
コード番号 8228 URL <http://www.maruichi.com/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 社長執行役員 （氏名） 柏木 康全
問合せ先責任者 （役職名） 取締役常務執行役員 コーポレート本部長 （氏名） 仁科 圭右 TEL 026-285-4101
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	71,434	13.4	426	66.3	618	8.1	413	△15.7
2025年3月期第1四半期	62,982	2.9	256	△27.9	572	13.5	491	58.7

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 613百万円（33.0％） 2025年3月期第1四半期 461百万円（△5.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	20.86	—
2025年3月期第1四半期	22.19	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	77,405	24,178	30.6
2025年3月期	77,087	23,887	30.2

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 23,647百万円 2025年3月期 23,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 （予想）	—	11.00	—	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	290,000	7.7	2,200	114.0	2,500	44.7	1,500	177.7	71.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	23,121,000株	2025年3月期	23,121,000株
2026年3月期1Q	3,283,747株	2025年3月期	3,283,662株
2026年3月期1Q	19,837,290株	2025年3月期1Q	22,131,602株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や、継続的な賃上げの効果などにより緩やかな回復基調が見られる一方、米国の通商政策の動向に対する懸念や地政学リスクの高まりなどを背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品流通業界では、人件費や光熱費、物流費等のコスト上昇や、物価高により消費者の節約志向が継続するなど、引き続き厳しい経営環境となっております。

こうした環境の中、当社グループは2030年度をゴールとする経営ビジョンの達成に向けた「中期経営計画2025」の最終年度として、「信州」「顧客（信州域外）」「産地」の3領域別方針と、定量目標の達成に向けた重点施策として「業務構造改革の実行」「エンゲージメント経営の実践」「サステナブル経営の推進」に取り組んでおります。

<領域別戦略>

「信州」	子会社(株)丸水長野県水との経営統合を進め、スリム化・効率化・機能強化により課題解決型ビジネスモデルへの転換を図る
「顧客」	消費地加工機能の拡充による首都圏エリアへの販売拡大・機能強化を推進
「産地」	昨年11月に子会社化したダイニチグループが加わり、漁協をはじめとする各ステークホルダーとの協業を通じて、垂直統合型の養殖魚事業を実現するビジネスモデルへの転換を加速

<重点施策>

「業務構造改革の実行」	新基幹システム「M-BASE」の運用定着と、RPA (Robotic Process Automation) や生成AIを活用した生産性向上を推進
「エンゲージメント経営の実践」	組織風土改革の推進と、人材育成に向けた階層別・職能別の教育・研修メニューの充実
「サステナブル経営の推進」	事業価値向上に向けた普遍的な取り組みと、食育活動など社会・環境価値向上に向けた当社グループ独自の取り組みの両輪を推進

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は(株)ダイニチ及びその子会社6社を連結の範囲に加えたことや、商品の値上げに伴う販売単価の上昇もあり714億34百万円（前年同期比13.4%増）となりました。利益面につきましては、減価償却費及びのれん償却費が増加しましたが、「中期経営計画2025」で掲げた各施策の実行による定量効果により営業利益4億26百万円（同66.3%増）、経常利益6億18百万円（同8.1%増）となりました。一方、前年同期に発生した固定資産売却益の反動減により親会社株主に帰属する四半期純利益4億13百万円（同15.7%減）となりました。

[セグメント別の概況]

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

※なお、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しておりますので、下記の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

<水産事業セグメント>

水産部門では国内水産物の安定供給と販売拡大に向け、養殖事業体制の強化や、産地駐在による商品調達力の強化を推進しております。デイリー部門では物流機能の強化と、エリア卸とのアライアンス戦略の推進により販売拡大を進めております。フードサービス部門では、業務用マーケットに対する水産及び畜産原料の惣菜商品の強化を進めております。

売上高につきましては、ダイニチグループを連結の範囲に加えたことから458億78百万円（前年同期比21.7%増）となりました。利益面につきましては、ダイニチグループ等への成長投資及びPMI（M&A効果を最大化させるための統合プロセス）により営業利益は3億21百万円（同126.8%増）となりました。

<一般食品事業セグメント>

原材料価格の高騰に伴う商品の値上げが続く、収益力向上が課題となる中、信州域内における強固な事業構造の構築と、構内物流業務の改善を進めることによる販管費の低減に取り組んでおります。

売上高につきましては、商品の値上げに伴う販売単価の上昇などにより70億44百万円（前年同期比1.1%増）となりました。利益面につきましては、子会社信田缶詰(株)の業績回復もあり営業損失は86百万円（前年同期は94百万円の営業損失）となりました。

＜畜産事業セグメント＞

飼料価格高騰に伴い国産畜肉相場の高値傾向が継続する厳しい環境下、4月に当社グループ内の畜産部門を組織再編し、製造事業を子会社大信畜産工業(株)に集約するなど製販一体の収益モデルの構築を推進しております。

売上高につきましては、畜産物の相場が総じて上昇傾向となり販売が鈍化したことから114億36百万円（前年同期比0.1%減）となりました。利益面につきましては、国産鶏肉相場の急騰に伴う収益低下と、調達・販売コストの上昇により営業利益は17百万円（同73.4%減）となりました。

＜丸水長野県水グループセグメント＞

グループ内の経営資源の集約化による信州事業の再強化とグループ最適化の実現を目指し、2025年度を目途とする当社と(株)丸水長野県水との統合作業を進めております。

業績につきましては、売上高は68億22百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は1億28百万円（同15.7%増）となりました。

＜その他（物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）＞

子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)は、当社グループの物流業務・冷蔵倉庫事業の品質向上とローコスト体制の構築を、グループ内の各事業と連携しながら推進しております。

業績につきましては、売上高は2億52百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は45百万円（同39.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は774億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億17百万円の増加となりました。主な要因は、商品及び製品が2億55百万円増加したことによります。

負債は532億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して25百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億24百万円、電子記録債務が2億9百万円減少し、短期借入金が4億23百万円増加したことによります。

純資産合計は241億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億91百万円の増加となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の30.2%から30.6%に増加しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では2025年5月13日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,549	6,503
受取手形及び売掛金	23,666	23,551
電子記録債権	245	231
商品及び製品	12,374	12,629
仕掛品	2,123	2,162
原材料及び貯蔵品	274	347
その他	3,406	3,765
貸倒引当金	△75	△72
流動資産合計	48,563	49,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,265	3,283
土地	6,721	6,721
その他（純額）	1,860	1,851
有形固定資産合計	11,847	11,856
無形固定資産		
のれん	6,755	6,610
ソフトウェア	2,680	2,524
ソフトウェア仮勘定	20	32
その他	105	114
無形固定資産合計	9,561	9,282
投資その他の資産		
投資有価証券	4,609	4,886
退職給付に係る資産	386	406
その他	2,521	2,294
貸倒引当金	△401	△440
投資その他の資産合計	7,115	7,147
固定資産合計	28,524	28,286
資産合計	77,087	77,405
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,359	25,234
電子記録債務	993	783
短期借入金	6,101	6,524
1年内返済予定の長期借入金	1,796	1,774
未払法人税等	317	342
賞与引当金	596	366
その他	4,031	4,692
流動負債合計	39,194	39,719
固定負債		
長期借入金	12,404	11,953
役員退職慰労引当金	232	174
役員株式給付引当金	78	78
債務保証損失引当金	42	42
退職給付に係る負債	285	278
資産除去債務	163	117
その他	798	862
固定負債合計	14,005	13,507
負債合計	53,200	53,226

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,390	3,374
利益剰余金	18,467	18,662
自己株式	△3,729	△3,730
株主資本合計	21,848	22,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,374	1,535
退職給付に係る調整累計額	84	85
その他の包括利益累計額合計	1,458	1,621
非支配株主持分	580	530
純資産合計	23,887	24,178
負債純資産合計	77,087	77,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	62,982	71,434
売上原価	57,818	65,286
売上総利益	5,164	6,147
販売費及び一般管理費	4,907	5,721
営業利益	256	426
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	84	100
受取賃貸料	50	47
その他	194	122
営業外収益合計	329	271
営業外費用		
支払利息	2	50
固定資産除却損	7	9
持分法による投資損失	0	9
その他	3	9
営業外費用合計	13	78
経常利益	572	618
特別利益		
固定資産売却益	139	72
特別利益合計	139	72
税金等調整前四半期純利益	711	691
法人税、住民税及び事業税	153	257
法人税等調整額	59	△17
法人税等合計	213	240
四半期純利益	497	451
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	491	413

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	497	451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	161
退職給付に係る調整額	3	0
その他の包括利益合計	△36	162
四半期包括利益	461	613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	454	575
非支配株主に係る四半期包括利益	6	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	171百万円	383百万円
のれんの償却額	—	144百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	37,687	6,965	11,447	6,644	62,744	237	62,982	—	62,982
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	37,687	6,965	11,447	6,644	62,744	237	62,982	—	62,982
セグメント間の内部 売上高又は振替高	423	89	138	66	717	1,094	1,812	△1,812	—
計	38,110	7,055	11,585	6,710	63,462	1,332	64,794	△1,812	62,982
セグメント利益 又は損失(△)	141	△94	65	110	223	32	256	—	256

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	45,878	7,044	11,436	6,822	71,181	252	71,434	—	71,434
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	45,878	7,044	11,436	6,822	71,181	252	71,434	—	71,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	567	154	89	117	929	1,130	2,060	△2,060	—
計	46,445	7,198	11,526	6,940	72,111	1,383	73,494	△2,060	71,434
セグメント利益 又は損失 (△)	321	△86	17	128	380	45	426	—	426

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年4月1日に長野県内における経営基盤の強化を図るため、当社の連結子会社である(株)丸水長野県水の畜産事業を吸収分割し、当社及び連結子会社である大信畜産工業(株)へ承継を行いました。

これに伴い、従来「丸水長野県水グループ」に含まれておりました(株)丸水長野県水から吸収分割し、当社及び大信畜産工業(株)へ承継した畜産事業の報告セグメントを「畜産事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。